

平成29年度 消防長の目標宣言 達成状況報告

消防長 吉川 敏勝

| NO. | 取組名 (担当課名) | 取組内容 | 達成目標 | 取組結果 今後の取組の方向性 | 目標達成状況 |
|-----|--|--|--|---|--|
| 1 | 火災予防の推進 (予防課) (警備1課) (警備2課) | <ul style="list-style-type: none"> 住宅用火災警報器の設置促進と維持管理の啓発を実施します。 事業所の防火査察の実施を実施し、防火管理体制の充実に図ります。 火災発生件数の減少に取り組めます | <ul style="list-style-type: none"> 住宅用火災警報器設置率 目標設置率 81% (平成28年設置率80%) 立入検査実施目標棟数 年間 400棟 建物火災発生件数目標 13件以下 (過去3年間の平均以下) | <ul style="list-style-type: none"> 住宅用火災警報器の設置促進は、目標を上回る設置率となり火災による死傷者の防止の一助になりました。 事業所の防火管理体制の充実としての防火査察については目標を下回ったが是正指導を効果的に行う事ができました。 建物火災発生件数は目標を上回ってしまいましたが、大規模な住宅火災の発生は無く小規模の火災の発生が多くありました。 <p>[今後の取組の方向性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅用火災警報器は、設置促進を図ると共に取り替えの必要性も周知しながら、火災予防思想の普及向上に取り組む必要があります。 立入検査については、指導事項の履行推進を図りながら進めます。 | <ul style="list-style-type: none"> 住宅用火災警報器設置率 設置率 83% 立入検査実施棟数 年間389棟 建物火災発生件数 16件 |
| 2 | 救急体制の充実 (警防救急課) (警備1課) (警備2課) | <ul style="list-style-type: none"> 救命講習会を開催し救急技術の向上を目指します。 職員の救急救命士の養成を行います。 救命率の向上を目指します。 (救命率:心肺停止より病院搬送時回復した率) | <ul style="list-style-type: none"> 救命講習会 年間予定回数 150回 参加者目標 5,000人 救急救命士養成 1名 救命率 31.1%以上 (過去3年間の平均以上) | <ul style="list-style-type: none"> 市民の方にAEDの取扱いや心肺蘇生法を学んでいただく救命講習会は回数、参加人員共に目標を上回り実施できました。 救急救命士の養成は、消防職員を養成所に入所させ国家試験に合格をしました。 救命率は、目標を達成しましたが、年ごとの数値の変動が大きいと考えます。 <p>[今後の取組の方向性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の応急救護技術の向上を図ることは、救命率の向上を図る上で重要であり、継続して事業実施をすることが必要です。 救急救命士の養成は、救急隊員の技術能力の向上を図る上でも必要であり、計画的に養成をします。 | <ul style="list-style-type: none"> 救命講習会 年間回数 159回 参加者 5,372人 救急救命士養成 1名 救命率 37.5% |

| NO. | 取組名 (担当課名) | 取組内容 | 達成目標 | 取組結果 今後の取組の方向性 | 目標達成状況 |
|-----|--|---|---|---|--|
| 3 | 消防体制の強化充実 (警防救急課) (消防総務課) | <ul style="list-style-type: none"> ・消防水利の新設、消防車両の更新を行います。 ・消防団員の災害活動のため、車庫待機室の整備、活動資機材の整備を行います。 ・消防庁舎の整備について検討を進めます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・消火栓新設 2基 ・高規格救急車 1台 ・小型動力ポンプ積載車 2台 ・第4分団第2部車庫待機室整備(建設工事完成) ・防火衣 45着 ・エンジンカッター 5台 ・拡声器 9台 ・消防庁舎整備方針の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・消防体制の充実のため、各種の災害時に使用する資機材は目標どおり整備することができました。 ・庁舎の整備の方向性も検討することができ、総合計画に位置づけることとしました。 <p>[今後の取組の方向性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防設備施設の充実強化は、消防力の維持向上の重要な要素のため計画的に実施する必要があります。 | <ul style="list-style-type: none"> 消火栓新設 2基 ・高規格救急車 1台 ・小型動力ポンプ積載車 2台 ・第4分団第2部車庫待機室整備建設工事完成 ・防火衣 45着 ・エンジンカッター 5台 ・拡声器 9台 ・消防庁舎整備方針の検討 |
| 4 | 近隣市との連携 (警備1課) (警備2課) (警防救急課) | <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害に対応するため、近隣市と災害対応について、合同訓練等により連携の強化を進めます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・合同訓練の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市や県内、関東地区との合同訓練が実施でき、他市消防との連携がとれるような関係を築くことができ、応援と支援の双方の立場による訓練も実施できました。 <p>[今後の取組の方向性]</p> <p>本市が被災した場合の受援を受ける際の連絡や連携についても十分に訓練を行い、市民の安全安心を守ることが必要です。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・秦野市山岳合同訓練 ・川崎市航空機合同訓練 ・横浜市航空機合同訓練 ・3市合同軌道事故訓練 (伊勢原、厚木、秦野) ・救助実戦訓練(県内各消防) ・緊急消防援助隊フォワードベース訓練 ・緊急消防援助隊ブロック訓練 ・県央広域応援部隊合同訓練 |